

登録コード	SSD02500	開講年度	2026				
授業題目	古環境変動論					担当教員	山田 桂
英文授業名	Past environmental changes					副担当	
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	不定期		
講義室					備考		
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	【ディプロマ・ポリシー】				【授業の達成目標】		
	2 4 SSカリ・理学						
	【研究科共通】深い専門知識に基づいて自らの思考や妥当性を論理的に説明できる批判的思考力					古環境変動に関する知識を深め，説明することができる．	
	～24SS【DP2】環境調和社会，知識基盤社会を支える高い知的素養					古環境変動に関する高い知識を身につけることができる．	
	2 6 SSカリ・理学， 2 5 SSカリ・理学						
	【DP5】専門知識に基づいた見識を持ち，その妥当性を理論的に説明し，議論する能力					古環境変動に関する知識を深め，説明することができる．	
	【DP2】それぞれの研究分野における高度な専門的知識と環境調和社会，知識基盤社会を支える高い知的素養					古環境変動に関する高い知識を身につけることができる．	
(2)授業の概要	過去の地球環境はどのように変化したのか、その概要を説明し変動を引き起こすメカニズムやその研究方法について詳しくふれる。本講義では、主として新生代を対象とする。						
(3)授業のキーワード	古生物、古気候，古環境						
(4)授業計画	4月に1回目を行う予定なので，e-Alpsの情報を頻繁に確認すること． 初回はその後の分担を決めるので必ず参加すること． 第1回：新生代の気候変動の概要 第2回：Mioceneの気候変動の特徴 第3回：Plioceneの気候変動の特徴 第4回：Pleistoceneの気候変動の特徴 第5回：完新世の気候変動の特徴 第6回：解析に用いる古生物学手法-Pliocene以前 第7回：解析に用いる古生物学手法-Pleistocene 第8回：解析に用いる古生物学的手法-Holocene 第9回：古生物学における統計解析 第10回：統計解析の実例，授業アンケート 第11回：様々な時間スケールの変動 第12回：近過去の気候・海洋変動 第13回：モンスーン変動 第14回：未来予測研究 第15回：まとめ						
(5)成績評価の方法	レポート課題による達成度で評価する。						
(6)成績評価の基準	達成目標に対する達成度に応じて，評価する．						
(7)事前事後学習の内容	課題が出る場合があるので，各回の指示に従って提出すること．						
(8)履修上の注意	ノートパソコンが必要になる．						
(9)質問、相談への対応	e-mailにて受け付ける（katsurai@shinshu-u.ac.jp)						
【教科書】	未定						
【参考書】	授業で必要に応じて紹介する。						